

単元名：傷害の防止

犯罪被害の防止

(全5時間扱い中 第4時)

授業日時 令和3年7月8日(木)第6校時

授業学級 2年B組

授業会場 2年B組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

犯罪が起こりやすい場所や場面を理解し、犯罪被害を防止するための方法を具体的な場面を想定することができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：傷害はどのように起こり、どのように防止するかを考える。
- ・活動：犯罪の起きやすい場所や場面を理解し、防犯の取り組みを考える。

(3) 展開

過程	活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	【単元の学習問題】 傷害はどのように起こり、どのように防止すればよいだろうか。		10
	1. 犯罪被害についての見通しをもつ。	○「みなさん、社会の中における犯罪についてどのようなものを知っていますか。また、どのようなところで犯罪は起きるのでしょうか。」 ◇社会の中で起こり得る犯罪被害についての発言を促し、その中で身近な犯罪を取り上げ、学習課題を据える。	
	【学習課題】 身近に起こり得る犯罪被害を知り、防犯の取り組みを考えよう。		
展開	2. 防犯の取り組みについて知る。	○「犯罪被害を防止するためにどんな取り組みが行われているのでしょうか。」 ◇護身に加え、地域、自治体、警察などの取り組みを知ることで、防犯対策が身近にもあることを確認する。	10 20
	3. Chromebook を使って犯罪被害の予測や防犯の取り組みについて知ろう。	○「みなさんの通学路にはどのような防犯対策があり、危険な場所があるのでしょうか。」 ◇Chromebook を使い、衛星写真で自身の通学路における防犯の取り組みや危険と予測される場所をまとめる。 【評価】 犯罪が起きやすい場所や場面をもとに、犯罪被害の予測や回避するための具体的な策を見出している。	
終末	4. 学習の振り返り	○「本時の学習の振り返りをしましょう。」 ◇自分の身近に起こり得る犯罪被害をもとに防犯の取り組みについて考えている生徒に発言するように促し、まとめをする。	10